

農作業コツのコツ

【第9号】

令和5年6月17日
 福光農業改良協議会
 砺波農林振興センター南砺班
 福光農業協同組合 営農部

早生

幼穂形成期まで間断かん水を行い、根に酸素を供給し、伸長を促しましょう。

中生・晩生・直播

中干しを徹底し、適正な生育に誘導しましょう。

現在の生育は、ほ場によってバラつきがあるものの概ね順調で、茎数は平年並みからやや多くなっています。早生品種の幼穂形成期は、とみちからが6月21日頃、五百万石が6月29日頃、てんたかく81が6月27日頃と予想されます。

生育状況に応じた適切な水管理（**中干し**、**間断かん水**）で、稲体の健全化や活力維持に努めましょう。

水稲の生育状況

(直播6月8日、移植6月13日：福光農業改良協議会 良質米実証田生育調査結果)

品種名	田植日		草丈(cm)		株当たり茎数(本)		葉齢(葉)		葉色		幼穂形成期予想		
	R5	平年	R5	平年	R5	平年	R5	平年	R5	平年	R5	平年	
とみちから	5/ 1	5/ 3	47.5	43.0	36.1	24.1	10.0	9.5	4.6	4.4	(6/21)	6/24	
五百万石	5/ 6	5/ 3	30.2	36.5	20.7	18.8	9.6	10.1	4.5	4.5	(6/29)	6/26	
てんたかく81	5/ 4	5/ 2	37.7	32.7	24.4	20.6	9.5	8.7	4.4	4.2	(6/27)	6/27	
コシヒカリ	5/13	5/14	30.9	34.1	18.9	17.6	8.2	8.4	4.1	4.2	—	7/10	
てんこもり	5/12	5/ 9	26.4	30.2	19.5	23.9	8.6	9.1	4.5	4.4	—	7/13	
密苗	てんたかく81	5/ 4	5/ 3	32.5	31.1	23.2	23.7	8.7	8.9	4.4	4.4	(6/27)	6/26
	コシヒカリ	5/15	5/15	31.2	29.8	16.5	16.0	8.0	7.9	4.3	4.2	—	7/14
	てんこもり	5/ 6	5/ 9	29.1	27.5	23.6	24.0	8.7	8.6	4.4	4.3	—	7/15
直播	カルパーコシ	4/27	4/30	33.4	27.1	128	104	7.5	6.8	4.2	4.2	—	7/14
	鉄コ コシ	5/ 3	4/30	20.9	22.5	58	69	5.8	6.1	4.2	4.1	—	7/17
	鉄コ てんこ	5/ 1	4/30	18.3	19.9	47	63	6.2	6.6	4.2	4.3	—	7/21

※てんたかく81の平年値はR4年の値

(調査筆数：コシヒカリ(慣行苗のみ)3筆、他2筆)

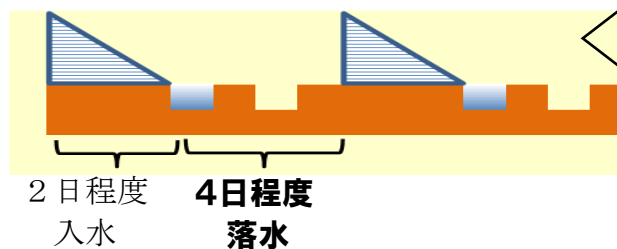
水稲

1 水管理

(1) とみちから、五百万石、てんたかく81

- ① **間断かん水**を徹底し、根に水と酸素を十分に供給しましょう。
- ② 幼穂形成期までに足跡の深さが3cm程度となるよう、徐々に田面を固めましょう。
- ③ 葉色の急激な低下を防ぐため、乾かしすぎないようにしましょう。
- ④ 茎数が多い等生育が旺盛な場合は、**落水期間を長め**にしましょう。

◎間断かん水の目安



生育状況やほ場条件に応じて**落水期間**を調整しましょう。

落水期間長め	落水期間短め
<ul style="list-style-type: none"> ・茎数が多い、葉色が濃い ・ほ場が乾きにくい ・中干しが不十分 	<ul style="list-style-type: none"> ・茎数が少ない ・ほ場が乾きやすい

(2) コシヒカリ、てんこもり、直播

- ① まだ**中干し**を始めていないほ場は、早急に行いましょう。
- ② 中干しは、数回に分けて徐々に干し上げ、田の中央部分にも軽く亀裂が入り、くるぶしまで沈む程度行いましょう。
- ③ 中干し後は**間断かん水**を行いましょう。



中干し終了の目安
足跡 10 cm程度

一気に強く干さない

2 穂肥施用

(1) とみちから

①**肥効調節体系**（基肥：L P s とみちから専用）の場合

- ・原則、穂肥の施用は不要です。
- ・ただし、**葉色4.2**を下回ったら直ちに**追肥3号**を10a当たり**10kg**施用しましょう。

②**分施肥体系**（基肥：基肥555）の場合

1回目穂肥は幼穂長1mm頃（5月1日田植えで6月19日頃）に施用しましょう。

○とみちからの穂肥施用の目安

施用時期	1回目	2回目	3回目
	幼穂長1mm時	1回目の7日後	2回目の7日後
10a 当たり施用量 (使用肥料：追肥3号)	13kg	15kg	15kg

(2) 五百万石

①**肥効調節体系**（基肥：L P s 五百万石専用）の場合

原則、穂肥の施用は不要です。

②**分施肥体系**（基肥：基肥555）の場合

必ず幼穂長を確認し、**1回目穂肥は幼穂長10mm頃**（5月6日田植えで7月4日頃）の時期に施用しましょう。

(3) てんたかく81

肥効調節体系（基肥：Jコート早生専用）の場合

- ①安易な追肥は倒伏を招くので、**原則、穂肥の施用は不要**です。
- ②ただし、**葉色4.0**を下回ったら直ちに**追肥3号**を10a 当たり7kg施用しましょう。

3 雑草防除

残草がある場合は『営農とくらし』P54～61を参照し、除草剤の使用時期（収穫前日数）を確認して遅れずに散布しましょう。

（トドメバスMF液剤：ノビエ6葉期まで、バサグラン粒剤：収穫60日前までに散布。）

4 病害虫防除

(1) **葉いもち、紋枯病**の病斑が見られたら、下表を参考に防除を行いましょ。

(2) 紋枯病は、特に前年発生が多かったほ場で注意し、防除を徹底しましょ。

病害虫	防除薬剤名	防除時期	使用時期	使用回数	10a 当たり散布量
葉いもち	ブラシン粉剤 DL	病斑を見つけたら直ちに	収穫7日前まで	2回以内	3～4kg
	ブラシンフロアブル				60～150ℓ(1,000倍) 0.8ℓ(8倍)
紋枯病	バリダシン粉剤 DL	穂ばらみ期 (幼穂形成期から 10日後頃)	収穫14日前まで	5回以内	3～4kg
	バリダシン液剤 5				60～150ℓ(1,000倍)

大豆

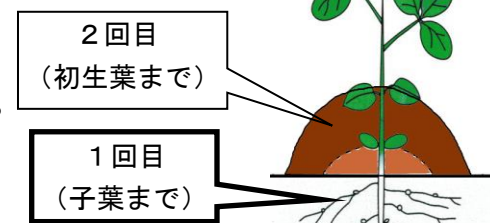
1 培土

5月末播種のは場では、1回目の培土時期となっています。
本葉2～3葉期（播種後20～25日後）に確実に行いましょう。

2 溝の手直し

- (1) 培土後、培土でできた溝と額縁排水溝を確実に連結し、排水対策を徹底しましょ。
- (2) 降雨後に雨水が長時間停滞しないように**溝の手直し**や**排水口の掘り下げ**を行いましょ。

◎培土の目安



リアルタイムに情報をお伝えするため、電子メールによる情報提供を行っています。右のQRコードから登録画面に進めます。詳細はJA福光までお問い合わせください。

